

人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

ウクライナ国花「ひまわり」は、人権の花

「ひまわり」という映画を知っていますか？ 1970年に日本で初公開され、イタリア映画としては日本でも異例のヒット作品になりました。ロシアのウクライナ侵攻を受けて、この名作映画が全国で再上映される動きが広がっています。

映画は、第二次世界大戦で引き裂かれたイタリア人夫婦の悲しい愛の物語です。夫のアントニオを戦地へ向かわせたくない妻のジョバンナは狂言芝居までしますが、アントニオは最も過酷なソ連*戦線へ送られることとなります。その後、戦争が終わっても戻らない夫を探すために、ジョバンナはソ連に向かいますが、広大なひまわり畑の果てに待っていたのは…。

この映画の冒頭で見渡す限りに広がった一面のひまわり畑は、とても美しく、映画の世界に引き込まれてしまいます。このシーンはウクライナのヘルソン州で撮影されたものだと言われています。実は、ウクライナの国花は「ひまわり」なのです。

ひまわりは、「人権の花」でもあります。市では、市内小学校児童が協力してひまわりの花を育てることにより、命の尊さを実感し、やさしさや思いやりの心を体得することを目的に、「人権の花」運動を実施しています。

この映画の2人は戦争により愛を引き裂かれ、映画を見た多くの人が涙を流しました。現在、ロシアのウクライナ侵攻により、夫婦、親子、家族、友人等多くの方々引き離されています。また、攻撃されてがれきの山になった町の映像をニュースで見ると、胸が張り裂けるような思いです。

第二次世界大戦後の1948年（昭和23年）12月10日に国際連合で「世界人権宣言」が採択され、基本的人権尊重の原則は世界各国の憲法や法律に取り入れられています。私たちは、かけがいのない生命を大切にしなければなりません。

この宣言のとおり人権が保障され、1日も早く誰もが自由に安心して生きることができ、平穏な日々が戻ってくることを願っています。美しいひまわり畑とともに…。

*注釈

ソ連（正式名称はソビエト社会主義共和国連邦。1922～1991年。現在のロシア、ウクライナを含む15カ国で構成されていた。）



下関「人権の花」運動で育てたひまわりと青空
ウクライナの国旗も「黄色と水色」